

当協会会員事業場より3事業場が受賞しました！

厚生労働大臣 優良賞

鹿島建設株式会社中部支店
第二東名高速道路
牧平工事

所在地=愛知県岡崎市牧平町字岩田3番地44
(表彰を受けた工事は岡崎労働基準監督署管内)



【事業内容および安全衛生対策上のポイント】
今年の2月13日に開通した新東名高速道路(豊田東JCT)

T、浜松いなさJCT間、約55km)のうち岡崎市内の約3・4kmの建設工事を行いました。土工量約150万m³の造成工事で、平成22年3月から平成27年7月末までの約5年半の工期で、延労働者数は148、708人、延労働時間は1、384、413時間となりました。工事延長が長く他工事で錯綜する中で、大型重機を主体に切盛土工事を行い、民家に近接しての発破作業や、長距離土運搬、周辺河川への濁水流出防止対策など困難な条件下で全工期無災

害を達成することができました。安全対策にあたっては、「自分は絶対に怪我をしない、仲間から決して不幸な者を出さない」という強い意志を全員が持ち、「災害を起こさない」ではなく、「災害が起こらない」現場を作ろうということ、現場での決められたルールを全員が守り、お互いに声を掛け合い、現場全体の安全意識の高揚を図ることができました。

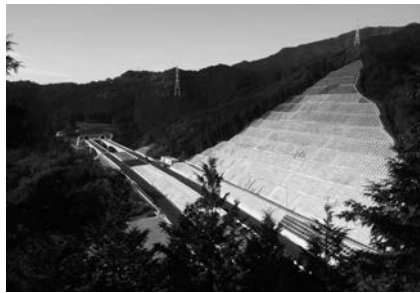
【受賞の抱負、今後の安全活動の抱負】
この度の受賞は発注者である中日本高速道路(株)様、並びに愛知労働局様、岡崎労働基準監督署様の格別のご指導の賜物であり、また工事に携わる人達が一致団結して成しえた成果であり、全員で喜びを分かち合うことができました。さらに工事区域近隣の皆様のご理解とご協力がなかったら成し得なかったことだと思っています。今回の受賞を糧に今後も建設業における労働災害の防止に努めていく所存です。

(鹿島建設(株)中部支店第二東名牧平工事事務所所長 服部悦士)

厚生労働大臣 優良賞

株式会社大林組名古屋支店
第二東名高速道路
稲木トンネル他1トンネル工事

所在地=愛知県新城市稲木地内
(表彰を受けた工事は豊橋労働基準監督署管内)



【事業内容および安全衛生対策上のポイント】
平成28年2月13日に開通した新東名高速道路愛知県内区

間のうち、新城市から豊川市にかけての区間で、山岳トンネル2カ所上下線(標準内空面積67m²合計延長約2km)、切盛土工(約140万m³)などを施工しました。現場工期は平成22年5月から平成27年11月までの67カ月、延べ労働者数は160、398人、延べ労働時間1、307、530時間となりました。離れた2カ所のトンネルの同時施工や高低差100mの切土に始まり、最終的に11・4kmと広い範囲の工事を担当しました。様々な課題を解決し、全

工期無災害で竣工できました。安全対策については、「全工期無災害」を現場全体の継続目標に掲げ、設備面の工夫・充実はもちろん、「個人の安全意識」に留意し、双方向コミュニケーションを通じて個々のレベルや状況に応じた対応・指導を行い、全ての作業関係者が「無事に作業を終えて帰宅する」という意識を常に持ち続けるように努めました。

【受賞の抱負、今後の安全活動の抱負】
この度の受賞は、発注者である中日本高速道路(株)様、並びに愛知労働局様、豊橋労働基準監督署様の格別のご指導の賜物であり、また、当工事に従事した全ての関係者の努力の成果です。厚く御礼申し上げます。また、近隣住民の皆様や隣接工事の皆様のご理解とご協力にも深く感謝いたします。

今後建設業における労働災害撲滅に貢献できるように、努力を継続してまいります。
(株)大林組土木本部プロジェクト部副部長(前名古屋支店第二東名稲木工事事務所所長) 藤井研介

愛知労働局長 奨励賞

パナソニックデバイスSUNX株式会社

所在地 春日井市牛山町243-1-1



【事業内容および安全衛生対策上のポイント】
当事業所は、昭和60年にサンクス(株)名古屋本社工場として設立されました。現在は、FA関連電子機器の生産と共に、デバイスSUNXグループの商品企画、研究・開発、国内外営業などの中心的な役割を担っております。現在の体制となりました平成22年以降、開発、営業など事務部門中心の事業所となり、安全上の

課題も、事務所内の災害や出先での交通事故、生産現場の災害の未然防止へと変化しております。リスクアセスメントやパトロールの継続と共に、安全教育やKYT、5Sの基礎固めを進めております。

【受賞の抱負、今後の安全活動の抱負】
この度、愛知労働局長奨励賞を授与頂きました。これも、愛知労働局長や名古屋北労働基準監督署他、関係各位のご指導、ご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

社名や業務内容の変遷に関わらず、安全第一の変わらぬ方針の下、社員全員で災害撲滅に努めて参ります。

※FA工場の自動化
トーション(工場の自動化)

平成28年度

愛知産業安全衛生大会開催

去る7月5日、日本特殊陶業市民会館(フォレストホール)において「愛知産業安全衛生大会」が開催され、愛知県内企業の安全衛生担当者など約1300名が参加しました。

当日、第1部は愛知労働局長の表彰式が行われ、木暮愛知労働局長の挨拶に続き、厚生労働大臣表彰伝達、愛知労働局長表彰授与、受賞者代表

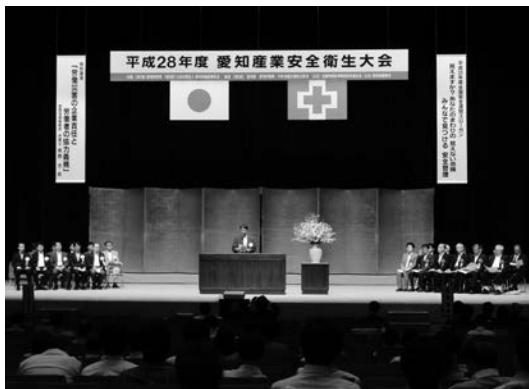
謝辞が行われました。

(各表彰事業場の詳細は愛知労働局長のホームページをご覧ください)

第2部は、(公社)愛知労働基準協会主催のもと、開会式・大会宣言に続き愛知労働局長 小坂労働基準部長による基調講演「労働安全衛生行政の動向」、事例発表としてアイシン高丘(株)安全環境推進室 柵木室長より「災害発生プロセスから

学ぶ考え方と実践内容」、続いて愛知工科大学工学部情報メディア学科 小塚教授による講演「転倒・歩行災害防止に向けた留意点と企業における取組み例の紹介」、最後に特別講演として安西法律事務所 安西弁護士による「労働者の企業責任と労働者の協力義務」が行われました。

大会宣言では、平成29年までに24年と比較して労働災害による死者数15%以上の減少、死亡者数40人を下回る目標や、リスクが適正に管理され、心身ともに健康で安心して働ける職場の実現に向け、経営トップの率先垂範と全員の参加による自主的な安全衛生活動を強力に押し進めることが盛り込まれ、満場の拍手をもって採択されました。



愛知産業安全衛生大会(第1部)



愛知労働局長(左)より奨励賞を授与されるパナソニックデバイスSUNX(株) 赤木専務取締役